

- 問1 国際連合の専門機関の一つで、教育・科学・文化の振興を通じて国際平和に貢献することを目的としており、人類共通の財産を保護するための「世界遺産リスト」を管理している組織の名称として正しいものを選びなさい。（2016年 大分県公立入試 類似）
1. 国際労働機関（ILO） 2. 世界保健機関（WHO） 3. ユニセフ 4. ユネスコ
- 問2 2018年における日本の都道府県別小麦収穫量において、過半数を超える61.6パーセントを占め、全国1位となっている都道府県はどこですか。（2020年 大阪府公立入試 類似）
1. 新潟県 2. 福岡県 3. 佐賀県 4. 北海道
- 問3 北海道を東西に横断するように、日本海沿岸の石狩平野付近から太平洋沿岸の十勝平野付近までを直線で結んだとき、その区間の地形断面に見られる特徴として最も適切なものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）
1. 一箇所にだけ孤立した高い火山がそびえており、それ以外の大部分は海拔の低い平坦な土地である。 2. 中央部に大規模な盆地が存在し、東西の両端にのみ険しい山岳地帯が位置している。 3. 中央部に大雪山系などの標高2000m級の険しい山地が連なり、その両端に平野が広がっている。 4. 全域になだらかな丘陵地が続いており、標高の高い山地は存在しない。
- 問4 日本の地方別統計において、北海道地方は耕地面積が極めて広い一方で、農家数は他地方と比較してそれほど多くありません。この「農家数に対する耕地面積の割合が非常に高い」という状況が、北海道の農業経営にどのような影響を与えているか、正しく説明しているものはどれですか。（2019年 高知県公立入試 類似）
1. 一戸あたりの作業範囲が広いため、生産効率を高める機械化が不可欠となっている 2. 農家一戸あたりの土地が狭すぎるため、複数の農家が共同で土地を管理している 3. 土地の生産性が低いため、農業を営む世帯が減少し、耕作放棄地が最も多くなっている 4. 労働力が余っているため、機械を使わずに手作業による丁寧な栽培が行われている
- 問5 北海道の経済や文化の変遷について、かつての商業都市である小樽と、自然保護が進む釧路湿原の背景を説明した文として、正しいものを次のうちから選びなさい。（2021年 鳥取県公立入試 類似）
1. 釧路湿原は、農地開発や工業用地としての利用を目的として大規模な埋め立てが行われた結果、世界文化遺産に登録された。 2. 小樽は、かつて石炭の積み出しやニシン漁の拠点として発展し、現在はその歴史的な倉庫群が観光資源として活用されている。 3. 小樽は、江戸時代に東廻り航路の終着点として栄えたため、現在も大規模な製鉄所が稼働する重化学工業都市となっている。 4. 釧路湿原は、寒冷な気候を活かした稲作の適地として開発が進んだが、現在は冷害に強い品種改良の実験場となっている。
- 問6 明治政府が北海道の組織的な開発を進めるために「開拓使」という機関を設置した際、農業に従事して土地を切り拓きながら、同時に北方の警備という軍事的な役割も兼ねて配置された人々を何と呼びますか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
1. 防人 2. 屯田兵 3. 御家人 4. 地頭
- 問7 日本の諸地域の特色をまとめた統計において、人口が約532万人であり、豊かな自然環境を背景に宿泊施設の延べ宿泊者数が約356万人、温泉地数が244箇所と全国的にも上位に位置する一方で、国宝の指定件数が1件にとどまっている地域はどこですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）
1. 北海道地方 2. 関東地方 3. 中部地方 4. 九州地方
- 問8 北海道の知床半島を含む東部地域では、夏季に「濃霧」が発生し、視界が悪くなったり気温が上がりにくくなったりすることがあります。この霧が発生する仕組みについて、海面を流れる潮の流れ（海流）と季節風の間接的な関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 島根県公立入試 類似）
1. 日本海から吹き込む湿った季節風が、暖流である対馬海流によって冷やされることで発生する。 2. オホーツク海から吹き込む冷たい風が、陸地の熱によって上昇気流となり、雲を作ることによって発生する。 3. 太平洋から吹き込む湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされることで発生する。 4. 太平洋から吹き込む乾いた季節風が、暖流である黒潮（日本海流）によって温められることで発生する。
- 問9 冬の北海道において、シベリア沿岸で凍結した海水が潮の流れに乗ってオホーツク海沿岸へと押し寄せる現象を何といいますか。（2024年 福島県公立入試 類似）
1. 潮汐 2. 流氷 3. 濃霧 4. 季節風
- 問10 北海道の釧路周辺における夏の気候について、統計資料では「8月の平均気温が約18度と低く、日照時間も短い」という特徴が示されることがあります。このような気候になる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）
1. 暖流である日本海流（黒潮）が湿った空気を運び、大量の降雨をもたらすため。 2. 寒流である千島海流（親潮）によって冷やされた空気が濃霧となり、日射を遮るため。 3. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい風「やませ」が、日本海側に低温をもたらすため。 4. 冬の季節風が山脈を越えて吹き下ろし、フェーン現象が発生して乾燥するため。
- 問11 北海道の根釧台地など、夏の気温が低く稲作に適さない地域で見られる、広大な土地を利用して乳牛を飼育し、生乳やバターなどを生産する農業形態を何といいますか。（2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 酪農 2. 果樹栽培 3. 施設園芸 4. 稲作単一経営
- 問12 北海道東部に位置する根釧台地では、広大な土地を利用した大規模な酪農が盛んに行われています。この地域で畑作よりも酪農が適している理由として、気候や土地の条件を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2016年 大分県公立入試 類似）
1. 夏は湿った風の影響で濃霧が発生しやすく、低温であるため、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているから。 2. 土地が火山灰で覆われており非常に肥沃であるため、肥料を使わずに効率よく飼料を生産できるから。 3. 一年を通じて降水量が非常に少なく乾燥した気候であり、水不足に強い牛の飼育に適しているから。 4. 冬の積雪量が非常に多く、春になっても雪が解けないため、耕作期間が極端に短いから。
- 問13 北海道の産業別就業者数に関する特徴として、最も適切な記述はどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）
1. 第1次産業から第3次産業まで、それぞれの就業者割合がほぼ均等になっている。 2. 広大な土地で農業が行われているため、第1次産業の割合が全国平均に比べて高い。 3. 大消費地である東京に近いため、近郊農業による第1次産業の割合が全国で最も高い。 4. 大規模な工業団地が多く、第2次産業の割合が全産業の中で最も高い。